



11月30日応接室において、北ひびき農業協同組合から、農業経営緊急支援資金利子補給の要請書が提出されました。

令和3年6月から8月にかけて高温・干ばつの農産物被害による減収や、コロナ禍で外食産業の低迷によって起きた米価の下落などから農業者の収入が大幅に減収となったため、北ひびき農業協同組合において農業経営緊急支援資金の貸付けが行われることとなりました。

この貸付利子の補給について、早坂町長は「関係課と前向きに検討したい」と述べました。

12月3日町民センター大集会室において、一般ごみ有料化に向けた住民説明会が開催されました。

説明会では、剣淵町一般廃棄物等最終処分場を延命させるため、令和4年10月から一般ごみを「燃えるごみ」「燃えないごみ」に分け、「燃えるごみ」を愛別町のじん芥処理組合に焼却処理委託することを検討しています。

この日、町民約60名が参加し、今後皆様の意見を盛り込みながら有料化に向け進めていきます。



※広報12月号に一般ごみ有料化の詳細を掲載しています。



12月9日応接室において、剣淵町稲作振興会から給食用食材が寄付され目録が贈呈されました。

今回寄付されたのは、新米180kg（うるち米90kg、もち米90kg）です。

会長の新見輝行さんは「今年は干ばつ等がありましたが、水稻については豊作となりました。剣淵の美味しいお米を、子どもたちに味わってほしい」と述べられていました。

寄付されたお米は、町内学校給食のほか、剣淵町保育所の給食でも子どもたちに届けられています。

12月9日応接室において、東町の武山昌彦さんが、生産したお米が各種コンクールで入賞し、その報告に訪れました。

入賞したのは「第15回あなたが選ぶ日本一おいしいコメコンテスト in 庄内町」メジャー部門でゆめぴりかが優良金賞に、「第10回米-1グランプリ in らんこし」でゆめぴりかとゆきさやかが共に銅賞に入賞しました。

早坂町長は「武山さんのお米は多くの賞を受賞しており、とてもおいしく、剣淵町産のお米の全体のイメージアップにもつながっています。今後もおいしいお米づくりを続けてください」と励ましの言葉を述べました。



Topics



12月9日応接室において、令和3年度北海道社会貢献賞（自治功労者）表彰状の受賞報告が行われました。このたび、受賞されたのは、高橋毅町議会議員と半田幸清教育長です。

お二人は令和3年12月8日に札幌市で行われた受賞式で表彰されています。

この表彰は、議員16年以上勤めた60歳以上の者、町職員として30年以上勤めた55歳以上の特別職及び職員に対し北海道知事から贈られるものです。

12月9日町民センター大会議室において、令和3年度剣淵町教育委員会・剣淵町文化協会・剣淵町スポーツ協会合同表彰式が行われました。

この日、各団体から4名2団体が受賞し、受賞者を代表し元町の大居晴彦さんが「これからも各団体の発展に寄与していきたい」と謝辞を述べられました。

このほか教育委員会から、前社会教育委員及び公民館運営審議委員長である緑町の金村哲也さんに感謝状が贈られています。受賞者については次のとおりです。



【剣淵町教育委員会】

- ・感謝状 緑町 金村 哲也さん
- ・表彰状 元町 大居 晴彦さん
- ・文化奨励賞 剣淵中学校吹奏楽部
- ・スポーツ奨励賞 仲町 垣内内 あさひさん

【剣淵町文化協会】

- ・文化賞 剣淵フォークダンス愛好会

【剣淵町スポーツ協会】

- ・スポーツ功労賞 藤本町 遠藤 正男さん
- ・スポーツ奨励賞 仲町 佐藤 雄心さん



12月13日、北海道選出国會議員である、東くによし衆議院議員のほか参議院議員4名に対し「水田活用の直接支払交付金の見直しについて」の要請活動を行いました。

新聞等で報道されている交付金の見直しにより、北ひびき管内で農業者の収入が3割以上減収し36億円以上の影響が懸念されることから、支援策を講じるよう要請書を提出しています。

この日、士別市、和寒町、剣淵町の首長3名とJA北ひびき代表理事組合長、てしおがわ土地改良区理事長の計5名が議員会館と農林水産省に出向き要請書を直接提出してきました。